

## さぽーとほっと基金 団体のライフステージごとの助成内容等一覧表

	項目	スタートアップ助成	分野指定助成		テーマ指定助成	団体指定助成
番号	対象とする団体のライフステージ	・スタート期(～3年)	・成長期(4年～)	・安定期	・安定期 ・発展期	・スタート期(～3年) ・成長期(4年～) ・安定期 ・発展期
1	要件	・5人以上 ・活動実績3年未満	・10人以上 ・活動実績1年以上			
2	助成額	下限なし～10万円	10万円～50万円	50万円～100万円	10万円～200万円	制限なし
3	助成率	10割	8割	5割	10割	
4	想定事業数	10～15事業	30～50事業	4～6事業	8～12事業	60～70事業
5	想定予算規模	100万円	1,500万円	400万円	1,500万円	4,500万円
6	連続申請の制限	3年まで連続申請可能	同一事業は3回まで実施可能		・1テーマ2年 ・1事業につき1回限り	寄附残高がある限り 連続申請可能
7	助成対象	事業助成 (テーマ指定助成は人件費も対象)				
8	対象事業期間	・前期公募：5月～1月 (実績報告書の提出期限：2月末) ・後期公募：9月～3月15日 (実績報告書の提出期限：3月末)				3月15日まで (実績報告書の提出期限：3月末) ※2か月に1回の審査
9	経常的な経費の支出の可否	不可 (事業助成のため)				
10	人件費計上の可否	不可			可能(上限あり) 助成対象額の20%まで	不可
11	備品購入の可否	可能 (※5万円以上の場合見積書の提出が必要)			可能 (※5万円以上の場合見積書、10万円以上の場合理由書の提出が必要) 助成対象額の20%まで	可能 (※5万円以上の場合見積書の提出が必要)
12	講師等謝礼の上限設定	上限を設けませんが、必要性及び金額の妥当性の説明を求める			一定の基準を設ける	上限を設けませんが、必要性及び金額の妥当性の説明をを求める
13	委託費計上の可否	上限を設けませんが、必要性及び金額の妥当性の説明を求める			可能 (※20万円以上の場合見積書及び理由書の提出が必要で、3者の見積書の提出も求める)	上限を設けませんが、必要性及び金額の妥当性の説明をを求める
14	飲食費計上の可否	不可				
15	食材費計上の可否	子ども食堂、食育に係る事業は計上可能 (フードバンク事業の食材費は不可)				
16	団体内部で代表者や会員への支払(謝礼、賃借料など)の可否	可能(支払の事実、経緯などを確認する)				
17	申請手続の簡素化	以下の事項について検討 ・スマート申請(URLから入力するもの) ・申請様式の半自動化 など				
18	プレゼンテーション審査の実施可否	プレゼン不要 (書面審査実施)	プレゼンテーション 審査実施 (1団体5分程度)	プレゼンテーション審査実施 (1団体10～15分程度に拡充して実施)		プレゼン不要 (書面審査実施)
19	実績報告・事業成果報告会	実績報告書の提出、年報掲載記事の作成			実績報告書の提出に加えて、事業成果報告会への出席を求める	実績報告書の提出、年報掲載記事の作成